

・優良賞・

福井大学教育学部附属義務教育学校9年

👑 東海佑香さん

●研究テーマ

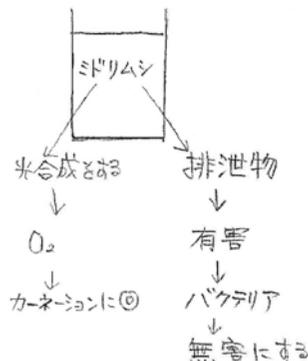
母の日カーネーション

動機

母の日にカーネーションを贈りたいと言ったところ、母から「出来るだけ長い間きれいなまま見ていたいわ」と言われたので、花を長持ちさせる方法を考え実験しました。

内容

まず花を長持ちさせるためにはどうすればいいかを調べると、花瓶の水の状態をきれいに保つことがよいと分かりました。そこで、一般的に用いられている水に台所洗剤を入れてみる、炭を入れてみる、砂糖を入れてみる、そして自分なりに考えたミドリムシを利用して水の状態を良くしてみるという四つの方法で対照実験をしました。



まとめや感想

自分なりに仮説を立てて実験しましたが、1回目は失敗しました。そこで、あらためて何がだめだったのかを考えて実験をし直しました。2回目は上手くいったので、とてもうれしかったです。カーネーションは2週間以上きれいなまま保つことができたので、母も喜んでいました。

・優良賞・

福井大学教育学部附属義務教育学校9年

👑 水野晴香さん

●研究テーマ

遠くに飛ばせ！

動機

庭にある楓の種子がひらひらと落ちていく様子を見て、羽のつくりや枚数を変えることでより遠くに飛ばすことができるのではないかと思い、調べることにした。

内容

- ①羽をもった種子について調べる
- ②羽の枚数が1枚から8枚の種子の模型をつくる(種子の部分は紙ねんど、羽の部分はコピー用紙を使い、羽の枚数以外の条件は変えずに実験を行った)
- ③制作した模型を高さのある場所から無風状態で落下させ、滞空時間と落下の様子を観察する。
- ④③で制作した模型と同じ模型を使い、扇風機で横風を再現し、飛ぶ距離を調べる。

まとめや感想

実験から、無風状態では、羽の枚数の多い模型の方が滞空時間が長いことが分かった。しかし、風の吹いている状態では羽の枚数の少ない模型の方が遠くに飛んだ。今回の研究を通して種子のさまざまな工夫などについて調べ、理解することができ、良かったと感じている。